

2015年5月21日

京都府知事 山田 啓二 殿

日本共産党京都府議会議員団

団長 前窪 義由紀

航空自衛隊「奈良基地祭」における「展示飛行」等に関する申し入れ

自衛隊ホームページによると、航空自衛隊が「2015年 奈良基地祭」を6月6日に開催するとし、それに先立ち、6月3日には、洛南地域、山城地域等、京都府南部において、航空自衛隊のジェット機の予行演習が計画されると聞き及んでいます。

これまでもF15、F2戦闘機、RF偵察機2機が府南部地域を高度830から1000メートルで低空飛行し、突然の爆音に、保育園で睡眠中の園児が泣き出したり、学校の授業が中断するなど、府民生活に重大な影響を及ぼしてきました。

また、陸上自衛隊・宇治駐屯地では、たびたび行われているヘリコプターの離発着訓練により、学校関係者や地域住民は騒音と振動に生活を脅かされており、5月には会話が聞き取れないほどの騒音をだす等の中で、地元からは離発着訓練の中止を求める要望が重ねて出されているところです。

さらに、米軍基地でのオスプレイの墜落事故がおこり、今国会には「戦争法案」が提出される等の動きの中で、住民の不安が一層高まっています。

よって、京都府におかれては、府民生活の安全・安心を確保するため、防衛省と航空自衛隊及び、航空行政を所管する国土交通省に対し、「展示飛行」訓練及び訓練飛行の中止を申し入れるよう、強く要望するものです。